

# 高見原ふれあい会

# 高見原

●地域が目指すまちづくり

## 地域のつながり・連携・強化

### ●周辺市街地活性化協議会の取り組み

- 「高見原神輿祭り」を開催
- 「高見原ハロウィンスタンプラリー」を開催
- アイディアソンチームの支援

これまでの取り組みとして、神輿の煤払い(お披露目会)などを実施しました。

### ◆高見原神輿祭り



長年披露されていなかったお神輿の復活イベント。当日は大人約20人が掛け声を合わせながら神輿を担いで会場を巡回。会場では焼きそばやかき氷の販売、子ども向けのお楽しみコーナーなど子どもから大人までが楽しめるイベントとなりました。

### ●これまでの活動を振り返って

当会は、2021年10月に「地域のつながり・連携・強化」を目的に設立し、その手段として、過去に行われていた神輿を復活させる方針としてきました。新型コロナウイルスの終息もあり、ようやく本年度、高見原1丁目から5丁目までの区会のご協力のもと、2023年8月に「高見原神輿祭り」として実施することができました。このイベントには、各丁目より113名の方がスタッフとしてご協力を頂き、また五十嵐市長にも、お忙しい中ご来場いただき神輿を担いで頂きました。おかげ様で、炎天下にもかかわらず事故もなく無事盛大に終了することができ、スタッフをはじめご来場者の皆様には感謝申し上げます。また、秋には、アイデアソンの「子ども食堂」とのコラボで高見原地区子供会のご協力のもと、子供たちのイベントとして「高見原ハロウィン」を初めて実施いたしました。このイベントには、77名の子供たちが参加してくれました。仮装をして3か所のチェックポイントを回り、ゴミの分別など環境に関するクイズやゲームに参加することにお菓子がもらえ、ゴール地点では「子ども食堂」の美味しい昼食が待っているというストーリーでしたが、子供たちの笑顔があふれ、実施して本当に良かったと思っています。

### ●市街地の特徴

生活圏は隣接する牛久市との関連が強く、東京のベッドタウンとしての開発が行われ、現在も居住人口は増加傾向。多様な人が居住。



高崎自然の森



牛久沼

### ◆高見原ハロウィンスタンプラリー



仮装をして高見原を回るスタンプラリーを実施。衣装がない子は衣装づくりからスタート。スタンプラリーのチェックポイントでは様々なクイズやゲームを実施。またゴールでは子ども食堂2.0によるお弁当が配布されました。

### ●これからに向けて

引き続き、高見原地区の皆様へ「高見原ふれあい会」を知ってもらい、参加していただくことが重要だと考えています。今回、「高見原神輿祭り」を実施しましたが、「高見原ふれあい会」の知名度が上がっていないことに驚きました。というのも、「高見原ハロウィン」を実施するにあたり、高見原地区各丁目子供会の役員さんと意見交換をしたのですが、「高見原神輿祭り」を実施したことを知らない方が多数でした。実は、子供会の方々が各丁目区会に入っていない方が多く、神輿祭りのチラシを見ていなかったということがわかりました。このようなことを踏まえ、「高見原ふれあい会」は、各丁目区会の皆様はもとより、様々な方が集える架け橋になれればと思っています。そのための手段として、引き続き、「高見原神輿祭り」、「高見原ハロウィン」など、様々なイベント等を企画したいと思っておりますが、そのためには丁目区会をはじめ地域住民の方々のご理解・ご協力が不可欠なので、「高見原ふれあい会」のPRを積極的に行っていきたいと考えております。

【Facebook】  
高見原ふれあい会

